

第1章 調査研究の背景と目的

教育基本法第3条において、生涯学習の理念として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定されている。

令和4年の第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理では、デジタル技術を活用した学習の重要性が確認され、学習活動に関するデジタル化・オンライン化の取組の進展が、社会的包摂の実現に有用であることが示された。

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、社会教育においてもオンライン型の研修実施が一般的になり、当センター生涯学習部でも、対面・オンライン（当センター生涯学習研修において実施するオンライン型研修は、ライブ配信型（同時双方向型）で実施。オンラインでの配信は、オンライン会議システムのZoomを利用。）それぞれの形式を組み合わせる研修が実施されている（表1）。オンライン型研修については、資料の事前配付、見え方や音声の確認、ブレイクアウトルーム（参加者を少人数のグループに分けてグループワーク等を行える機能）の活用等により、対面とのギャップを少なくするよう配慮しているが、「オンラインでも対面での研修と同等の学習効果が得られるか」、「社会教育において重要な『人のつながりづくり』についての効果に違いはあるか」ということを課題として認識しており、両者の課題を整理し、利点を最大限に引き出すためには、具体的な調査と分析が必要であると考えた。

そこで本研究では、対面型研修とオンライン型研修の学習効果（特に、社会教育において重要な「人のつながりづくり」に焦点を当てる）を比較し、両者の利点と課題を明らかにする調査を実施することで、今後の研修の実施形態の在り方について考えることを目的に調査研究を実施した。

表1 令和6年度の生涯学習部の研修と開催方法（実施形態）等一覧

No	研修名	総日数	主研修の開催方法（実施形態）			ライフアップセミナー 対象（オンライン） ※2	備考
			対面	オンライン	ハイフレックス ※1		
1	女性教育指導者研修	7	7	0	0	1	
2	家庭教育オピニオンリーダー研修	6	5	0	1	2	第1回を合同で開催
3	家庭教育支援プログラム指導者研修	5	4	0	1	1	
4	地域づくりを考える！青少年ボランティアセミナー	2	1	0	1	1	第1回を合同で開催
5	地域づくりを考える！ボランティアスタートアップセミナー	2	1	0	1	1	
6	学びによる地域づくり実践セミナー	4	3	0	1	1	
7	地域学校協働活動推進員養成研修	5	5	0	0	4	
8	生涯学習・社会教育関係職員研修	4	3	1	0	2	
9	人権教育指導者専門研修	5	5	0	0	0	
10	地域連携教員研修	1	1	0	0	1	
11	新任地域連携教員研修	1	0	1	0	0	オンライン半日、オンデマンド半日
12	コミュニティ・スクール推進研修	3	3	0	0	2	
13	地域学校協働活動推進員パワーアップ講座	3	3	0	0	1	
14	ファシリテーションパワーアップ講座	3	3	0	0	1	
15	コーディネーションパワーアップ講座	3	3	0	0	3	
16	生涯学習・社会教育関係職員パワーアップ講座	3	1	1	1	1	
17	地域づくりスキルアップセミナー	1	1	0	0	0	
18	家庭教育・子育て支援課題解決セミナー	1	1	0	0	1	
19	放課後活動指導者研修	2	1	0	1	2	
20	生涯学習・社会教育関係職員のためのICT活用セミナー	2	2	0	0	0	
21	連携へのカギ～公民館の次なるステージへ～	1	1	0	0	1	
	合 計	64	54	3	7	26	

※1 「ハイフレックス」は、対面型・オンライン型のいずれかを受講者が選択して受講するもの。

※2 「ライフアップセミナー」は、当センターが主催する各種研修の一部を県民一般に公開しているもので、受講者はオンラインで受講した。